

# 確かな学力を育む授業力の向上

奈良市立都南中学校

本校では「学力向上実践研究」の研究指定を受け、初年度は以前から取り組んでいた「小中連携を中心とした取組」を深めることに力を注いだ。次年度はさらなる「学力向上」のため、校務分掌を見直して「教師力課」「生徒力課」を設置し、様々な提案を行い、「学び合う」ことを中心とした「**新しい学びのスタイル**」の取組を柱とした。今年度は昨年度の取組から見えてきた「認め合える・支え合える」ための「**親和的な集団づくり**」を加え、2本の柱とした。

## (1) 取組の実際

### <平成20年度> ○小中連携を中心とした取組

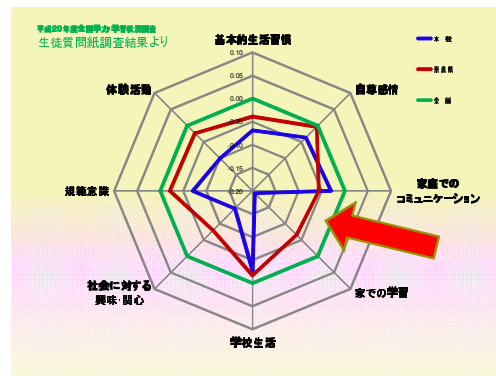
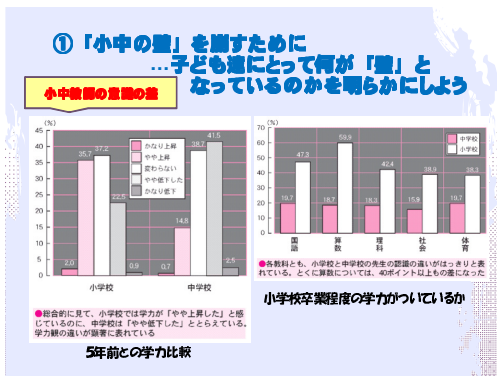
「校区学力向上委員会」(平成17年度～)を核とした取組の深化

「中1ギャップ」の解消と「9年間を見通したカリキュラム」の育成



校区小・中学校一斉に総合学力調査の実施・小中合同研修会・小中共通教材の検討

校区小・中学校公開授業・おはようスタディ(早朝学習)・少人数授業等



**課題** …低学力傾向・家庭学習の弱さなどに大きな変化は見られない。さらに具体的に様々な提案をしていく部や課の設置が必要である。

<平成21年度> ○個に応じたきめ細かな指導法の確立  
○確かな学力を育む授業力の向上

校務分掌の見直し…様々な提案をしていく新しい「課」の設置



「生徒力課」「教師力課」を設置→提案

学習の手引き…教科ごとの学習の仕方、家庭学習の仕方等

保護者に配布、学活で生徒へのレクチャー

宿題一覧表…一週間の宿題の量を調節(多い、少ないをなくす)


保護者も宿題が出ているか確認できる

確認テスト…単元ごとに基礎事項の定着度の確認

放課後学習会…確認テスト結果から基礎事項の未定着生徒への補充学習

**家庭学習を充実させるには**

②家で勉強する習慣をつける  
宿題を毎日、一定量出そう → 一週間の予定表配付



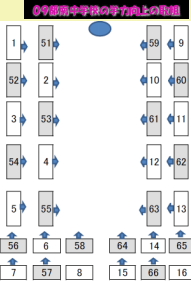
**「新しい学習スタイル」**

- 座席の変更

先生から全員見える  
…ではなく

常に多くの仲間の顔が見える

自分の発言を大切にもらおう  
仲間の発言を大切に



**「新しい学習スタイル」**

- 「黒板を使った一斉授業」からの脱却
- 互いの顔が見えるコの字型の机の配置
- 「3人か4人のグループによる学習」

↓

- わからないところをどんどん聞く …教え合う
- 共同して難しい課題に挑戦する …ジャンプのある学習

新しい学習スタイル

互いの顔が見える「コ」の字型の机の配置

少人数のグループ学習の導入

共同して難しい課題に挑戦する…ジャンプのある学習



一斉授業からの脱却(「学び」からの逃避を防ぐ)

「習う」から「学び合い・教え合い」へ

生徒による授業評価

学期末に全教科の授業評価→クラスごとに集計→職員

月1回の研究授業、研究協議

学識者との連携(奈良教育大 粕谷准教授 奈良女子大 藤井准教授)

**学びの約束…学級掲示**

- 何が「わからない」のか気づきましょう。
- 「わからない」ときは、考えましょう。
- 「考え」でもわからないときには、「教えて」と言ひましょう。
- 「教えて」と言われたら「わかる」まで教えてあげましょう。
- 「教えて」と言うまで、教えるのはやめましょう。

**新しい学びのスタイルに関するアンケート結果(3学期)**

- 「教室の雰囲気が良くなった」…70.2%(+6.2%)
- 「勉強がわかりやすくなった」…66.2%(+4.2%)

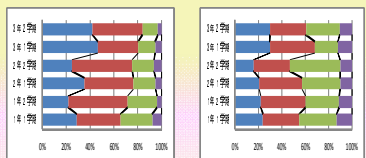
肯定的意見  
・授業中に質問をしたり、わからないところを教えてもらった時間があるので安心した。

否定的意見  
・話しやすくなるので、私語が多くなる

**生徒による授業評価(平成21年度)**

② 先生の話には集中して耳を傾けることができた

③ 授業には積極的に参加し発言もできた



課題…新しい学習スタイルに対して、教職員の共通理解の不足や保護者の不安の解消。「学び合う」ために必要な「学習規範」や「ソーシャルスキル」(「人と関わる知識と技能」)の不足。「認め合える・支え合える親和的な集団」づくり。

## <平成22年度>

### ○「新しい学習スタイル」の徹底→「教える」プロから「学び」のプロへ

研究授業、研究協議、職員研修の重視

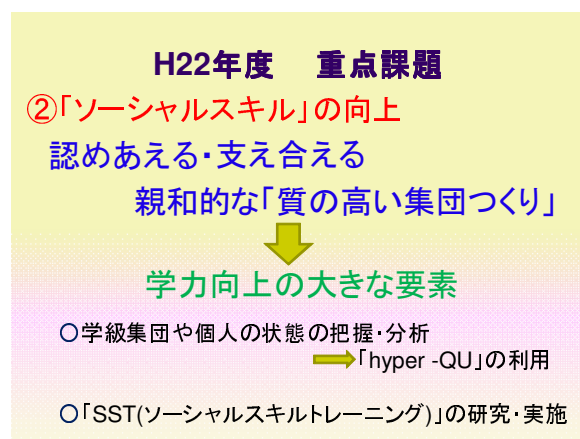
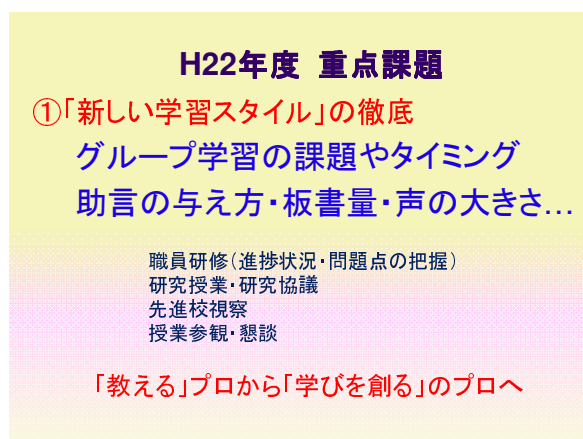
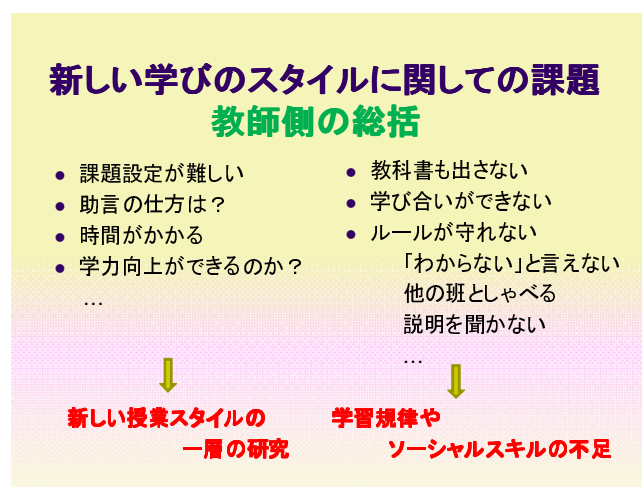
→新しい学習スタイルの進捗状況や問題点の把握

月1回の授業参観、懇談→保護者の理解、協力を得る

### ○認め合える・支え合える「親和的な集団づくり」

「hyper -QU」（個々の「学級生活満足度」や学級の状況把握）の活用

「SST(ソーシャルスキルトレーニング)」の研究・実施



課題…グループ学習での課題設定や板書量・助言の与え方など細かな部分に目を向けられるようになったが、生徒の「学び合う」力が伸びていない。



「学習規範」や「ソーシャルスキル」（「人と関わる知識と技能」）の不足。

(2) 3年間の取組の成果と今後に向けて

# 成果

- 不登校生徒、学びから逃避する生徒の減少。
- 予習や宿題など家庭学習の取組の向上。
- 「全国学力・学習状況調査」、「県学力診断テスト」等の結果の向上。

## 取組みの成果

「不登校生徒」や  
「学びから逃避する生徒」の減少

30日以上欠席の生徒  
平成21年度 一学期末 22名  
↓  
平成22年度 一学期末 13名

## 新しい学びのスタイルに関するアンケート結果(3学期)

- 「教室の雰囲気良かった」・・・70.2%(+6.2%)
- 「勉強がわかりやすくなった」・・・66.2%(+4.2%)

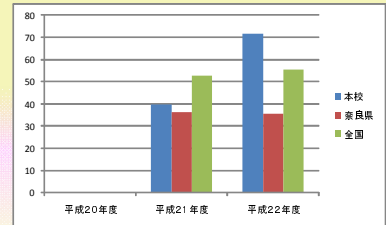
### 肯定的意見

・授業中に質問をしたり、わからないところを教えてもらったりする時間があるので安心した。

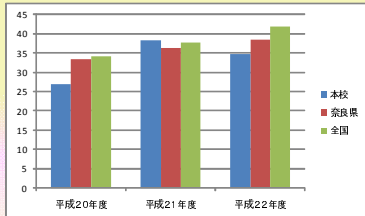
### 否定的意見

・話しやすくなるので、私語が多くなる

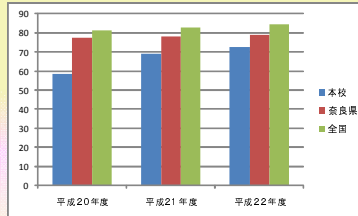
普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか



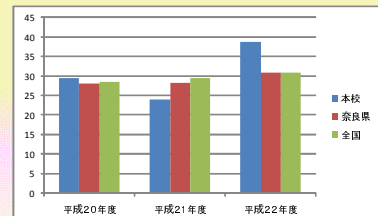
家で自分で計画を立てて勉強していますか。



家で学校の宿題はしていますか。



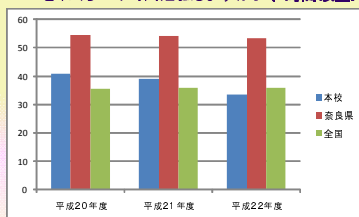
家で学校の授業の予習をしていますか。



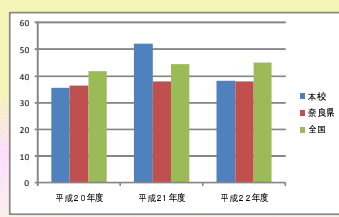
# 課題

- 保護者との協力の下、家庭学習のさらなる定着。
- 「ソーシャルスキル」の向上。
- 「新しい授業スタイル」の徹底。より一層の研究。
- 「親和的な集団づくり」「自尊感情の育成」
- 生徒会活動や係活動の充実。

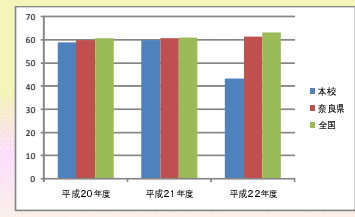
学校の授業時間以外に普段(月～金)、一日にどれくらいの時間勉強しますか。(2時間以上)



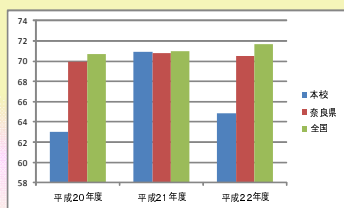
学校の規則を守っていますか。



自分には良いところがありますか。



将来の夢や目標を持っていますか。



あなたの学級では、学級の友達同士で話し合って学級の決まりなどを決めていると思いますか。

